

2014年1月～12月

## I. 著書

1) 石田康, 武田龍一郎: 精神医学からみたうつ病に伴う疼痛へのアプローチ. 村崎光邦監修. 小山司, 樋口輝彦編: デュロキセチンのすべて. 先端医学社 (東京), 227-231 (2014)

## II. 原著

1) Funahashi H, Naono-Nakayama R, Ebihara K, Koganemaru G, Kuramashi A, Ikeda T, Nishimori T, Ishida Y. Hemokinin-1 mediates pruriceptive processing in the rat spinal cord. *Neuroscience* 277: 206-216 (2014)

2) 船橋英樹, 三好良英, 直野慶子, 宇田川充隆, 蛭原功介, 小金丸剛, 松尾寿栄, 石田康: リエゾンと緩和 怒りを伴うせん妄ー包括的アセスメントシートを用いて評価するー. *精神科* 25 (5): 542-545 (2014)

3) Koganemaru G, Abe H, Kuramashi A, Ebihara K, Matsuo H, Funahashi H, Yasuda K, Ikeda T, Nishimori T, Ishida Y. Effects of cabergoline and rotigotine on tacrine-induced tremulous jaw movement in rats. *Pharmacol Biochem Behav* 126: 103-108 (2014)

4) 松尾寿栄, 直野慶子, 船橋英樹, 安部博史, 石田康: 地方の GID 診療の現場から地方の性同一性障害(GID) 診療の現場から 宮崎大学の場合. *GID 学会雑誌* 7 (1): 109-111 (2014)

5) Miyoshi R, Matsuo H, Nagatomo K, Ozono K, Araki R, Ishikawa M, Abe H, Taniguchi H, Ishida Y: Weight control in schizophrenic patients through Sakata's Charting of Daily Weight Pattern and its associations with temperament and character. *Asian J Psychiatr* 7 (1): 52-57 (2014)

6) 長友慶子, 直野久雄, 安部博史, 武田龍一郎, 牧田昌平, 松尾寿栄, 船橋英樹, 倉増亜紀, 内村大介, 石田康: Blonanserin 投与後の統合失調症患者の臨床症状および主観的評価の変化. *宮崎県精神科医会誌* 29: 31 (2014)

7) Nakamura T, Ikeda T, Takeda R, Igawa K, Naono-Nakayama R, Sakoda S, Nishimori T, Ishida Y: The role of spinal serotonin receptor and alpha adrenoceptor on the antiallodynic effects induced by intrathecal milnacipran in chronic constriction injury rats. *Eur J Pharmacol* 738: 57-65 (2014)

8) 直野慶子, 直野久雄, 安部博史, 武田龍一郎, 牧田昌平, 船橋英樹, 松尾寿栄, 内村大介, 石田康: Blonanserin 投与後の統合失調症患者の臨床症状および主観的評

価の変化—Blonanserin 非投与群を対象とした検討—. 精神科 24 (5): 601-608 (2014)

9) Naono-Nakayama R, Ikeda T, Matsushima O, Sameshima H, Takamiya K, Funahashi H, Nishimori T: An amino-terminal fragment of hemokinin-1 has an inhibitory effect on pruritic processing in rats. *Neuroscience* 259: 172-83 (2014)

10) 岡原一徳, 石田康, 林要人, 土屋利紀: レビー小体型認知症患者に対する抑肝散長期投与の有用性—長期投与の有効性および安全性に関する後方視的観察研究—. *Dementia Japan* 28 (1): 97-107 (2014)

11) 大野裕, 酒井明夫, 大塚耕太郎, 粟田圭一, 岩佐博人, 石田康, 宇田英典, 亀井雄一, 中村純, 本橋豊, 田島美幸, 米本直裕, 稲垣正俊, 山田光彦, 高橋清久: 「複合的自殺対策プログラムの自殺企図予防効果に関する地域介入研究 NOCOMIT-J」を終了して: 研究成果と今後の課題. *ストレス科学* 29 (1): 1-17 (2014)

12) 大野裕, 酒井明夫, 大塚耕太郎, 粟田圭一, 岩佐博人, 石田康, 宇田英典, 亀井雄一, 中村純, 本橋豊, 田島美幸, 米本直裕, 稲垣正俊, 山田光彦, 高橋清久: 自殺対策の地域介入プログラムに関するエビデンスの構築: 複合的自殺対策プログラムの自殺企図予防効果に関する地域介入研究 (NOCOMIT-J) の取り組み. *日本社会精神医学会雑誌* 23 (4): 387-392 (2014)

13) Takeda R, Ishida Y, Ebihara K, Abe H, Matsuo H, Ikeda T, Koganemaru G, Kuramashi A, Funahashi H, Magata Y, Kawai K, Nishimori T: Intrastratial grafts of fetal ventral mesencephalon improve allodynia-like withdrawal response to mechanical stimulation in a rat model of Parkinson's disease. *Neurosci Lett* 573: 19-23 (2014)

14) Yada H, Abe H, Omori H, Matsuo H, Ootsubo M, Ishida Y, Katoh T: Differences in job stress experienced by female and male Japanese psychiatric nurses. *Int J Ment Health Nurs* 23 (5): 468-476 (2014)

15) 矢田浩紀, 安部博史, 加藤貴彦, 大森久光, 石田康: 精神療養病棟看護師のストレス反応に影響を与える職業性ストレスに関する検討. *精神医学* 56 (9): 787-794 (2014)

16) Yada H, Abe H, Lu X, Wakizaki Y, Omori H, Matsuo H, Ishida Y, Katoh T: Job-related stress in psychiatric nurses in Japan caring for elderly patients with dementia. *Environ Health Prev Med* 19 (6): 436-443 (2014)

### III. 症例報告

1) 木村佳代, 武田龍一郎, 橘宣祥, 倉山茂樹, 石田康: Risperidone から paliperidone へ切り替え後, 糖尿病が増悪した統合失調症の 1 症例. *精神医学* 56 (7): 591-594

(2014)

2) 木村佳代, 武田龍一郎, 長友慶子, 牧田昌平, 室井千代, 湯地博幸, 倉山茂樹, 石田康 : Lamotrigine 併用で, 陰性症状や不安抑うつ症状が改善した統合失調症と統合失調感情障害の 4 症例. 宮崎県精神科医会誌 29: 31-32 (2014)

3) 倉増亜紀, 國枝良行, 船橋英樹, 久富木庸子, 田中洋, 石田康 : 肺小細胞癌由来の SIADH により低ナトリウム血症を生じた慢性期統合失調症患者の 1 例. 精神科 24 (4): 479-485 (2014)

4) 倉増伸二, 武田龍一郎, 安部博史, 大塚和之, 石田康 : Usher 症候群患者の精神病症状に aripiprazole が奏効した 1 例. 最新精神医学 19 (6): 529-534 (2014)

5) 松田裕, 宇田川充隆, 武田龍一郎, 橋口浩志, 石田康 : 小児期の広汎性発達障害の興奮性に対し, アリピプラゾールが奏効した 3 症例. 精神科 24 (2): 265-270 (2014)

6) 直野久雄, 直野慶子, 橋口浩志, 船橋英樹, 武田龍一郎, 石田康 : オランザピン速効型筋注製剤の投与後に拒薬が改善した統合失調症急性期の 2 症例. 精神科 25 (6): 661-665 (2014)

#### IV. 総説

1) 武田龍一郎 : 職場におけるメンタルヘルス対策～労働安全衛生法改正に伴うストレスチェックの導入～. CNS フロンティア 1: 7-8 (2014)

#### V. その他 (報告書, 資料, 医家向け情報誌・新聞記事, 学会記録集等)

1) Funahashi H, Naono-Nakayama R, Abe H, Ebihara K, Nishimori T, Ishida Y. Hemokinin-1 mediates pruriceptive processing in the rat spinal cord. 44th Annual Meeting Society for Neuroscience 51 (2014)

2) 石田康 : 好奇心を忘れないことが大事です. 九州医事新報 601 号: 14-15 (2014)

3) 石田康 : 自殺対策逍遙 (巻頭言). 老年精神医学雑誌 25 (7): 728-729 (2014)

4) 河野次郎 : 「気づき」「耳を傾け」「つなぎ」「見守る」、社会全体で自殺を防いでいきましょう。瞬 VOICE. 宮崎県人権啓発センターだより じんけんの風 21:2 (2014)

5) 河野次郎 : 職場のメンタルヘルス対策. 公益財団法人宮崎県健康づくり協会健康情報誌サンテ宮崎 68: 1-2 (2014)

6) 渡路子, 堤敦朗, 蒔田浩平, 辻厚史, 重黒木真由美, 河野次郎, 日高真紀, 野上朋子 : 「大規模災害時の精神疾患実態把握と対応ガイドラインの作成・評価に関する研究」『口蹄疫被災における畜産農家・地域住民・防疫従事者の継続的健康調査. 平成 23-25 年度厚生労働科学研究費補助金 (障害対策総合研究事業) 総合研究報告

書』(2014)

7) Naono-Nakayama R, Funahashi H, Takamiya K, Nishimori T. Hemokinin-1(1-5) elicits the inhibitory effect on pruritic processing. 44th Annual Meeting Society for Neuroscience 51 (2014)

8) 武田龍一郎：サバイバーズギルト 宮崎日日新聞きゅんと 9月5日号 (2014)

VI. 学会の特別講演（教育講演，ランチョンセミナー等を含む）

VII. 学会のシンポジウム，パネルディスカッション

1) 船橋英樹：シンポジウム 13 対応の難しい患者との関わり方 S13-1 対応の難しい患者との関わり方～否認～：第 27 回日本サイコオンコロジー学会総会，東京都江戸川区，10月4日 (2014)

2) 石田康，松尾寿栄，直野慶子，船橋英樹，安部博史：「地方の GID 診療の現場から」宮崎大学の場合．GID（性同一性障害）学会第 16 回研究大会・総会，那覇市 3月21-22日 (2014)

3) 石田康，河野次郎，松田裕，渡路子，岩本直安：NOCOMIT-J の取り組みの実際～南九州（宮崎）地域からの報告．シンポジウム②戦略研究 NOCOMIT-J：成果と展望．第 38 回日本自殺予防学会総会，北九州市，9月11-13日 (2014)

4) 石田康，林要人，岡原一徳：抑肝散の認知症に対する臨床効果．シンポジウム 10 抑肝散の基礎と臨床最前線．第 36 回日本生物学的精神医学会・第 57 回日本神経化学学会大会，奈良市，9月29-10月1日 (2014)

5) 大塚耕太郎，岩佐博人，本橋豊，石田康，栗田主一，中村純，亀井雄一，米本直裕，山田光彦，稲垣正俊，高橋清久，田島美幸，宇田英典，酒井明夫，大野裕：NOCOMIT-J の活動と成果．委員会シンポジウム 8．自殺対策のための戦略研究の成果（第一報）．第 110 回日本精神神経学会総会，横浜市，6月26-28日 (2014)

6) 大塚耕太郎，岩佐博人，本橋豊，石田康，栗田主一，中村純，亀井雄一，米本直裕，山田光彦，稲垣正俊，高橋清久，酒井明夫，大野裕：NOCOMIT-J：その実務と成果．自殺対策のための戦略研究・NOCOMIT-J が明らかにしたこと．自殺対策委員会企画シンポジウム．第 11 回日本うつ病学会総会，広島市，7月18-19日 (2014)

7) 大塚耕太郎，岩佐博人，本橋豊，石田康，栗田主一，中村純，亀井雄一，米本直裕，山田光彦，稲垣正俊，高橋清久，酒井明夫，大野裕：NOCOMIT-J の取り組みと成果，今後の対策や被災地での取り組み．シンポジウム②戦略研究 NOCOMIT-J：成果と展望．第 38 回日本自殺予防学会総会，北九州市，9月11-13日 (2014)

VIII. その他の招待講演（研究会の特別講演・教育講演等）

1) 武田龍一郎：学校保健、産業精神保健におけるストレスの客観的評価. 第72回宮崎県精神科医会特別講演, 宮崎市, 12月6日 (2014)

IX. 一般講演（国内学会, 国際学会）

1) Funahashi H, Naono-Nakayama R, Abe H, Ebihara K, Nishimori T, Ishida Y: Hemokinin-1 mediates pruriceptive processing in the rat spinal cord. 44th Annual Meeting Society for Neuroscience, Washington, DC, Nov. 15-19 (2014)

2) Hayashi Y, Ishida Y, Okahara K, Mitsuyama Y: An open-label trial of Yokukansan on sleep disturbance in Alzheimer's disease and other dementia. Clinical Trials on Alzheimer's Disease Philadelphia, Pennsylvania USA (2014)

3) 今村幸子, 田渕雅宏, 山口琢児, 五十嵐康, 加瀬義夫, 蛭原功介, 石田康: セロトニン産生細胞 RIN-14B における L-DOPA 誘発ドパミン合成に対する抑肝散の増強作用. 第36回日本生物学的精神医学会・第57回日本神経化学学会大会, 奈良市, 9月29-10月1日 (2014)

4) 河野次郎, 平井祥子, 野上朋子, 石川幸司, 日高真紀, 橋口浩志, 石田康: 宮崎県における中高生のこころの問題での医療機関受診動向. 第110回日本精神神経学会総会, 横浜市, 6月26-28日 (2014)

5) 古郷央一郎, 三好良英, 松尾寿栄, 落合秀信, 石田康: 宮崎大学医学部附属病院救命救急センターへ入院した後に精神科診療を要した自殺企図患者の検討. 第38回日本自殺予防学会総会, 北九州市, 9月11-13日 (2014)

6) 倉増亜紀, 安部博史, 小金丸剛, 松尾寿栄, 池田哲也, 蛭原功介, 船橋英樹, 武田龍一郎, 西森利数, 石田康: 統合失調症の潜在抑制障害モデルを用いた、ブロナンセリンの改善効果に関する行動学的、形態学的検討. 第36回日本生物学的精神医学会・第57回日本神経化学学会大会, 奈良市, 9月29-10月1日 (2014)

7) 藏元恵里子, 吉永砂織, 安部博史, 武田龍一郎, 石田康, 根本清次: 顔面電位トポグラフィの開発および実験的応用の可能性ー顔面電位情報を用いた新たな表情評定法ー. 第32回日本生理心理学会大会, つくば市, 5月17-18日 (2014)

8) 藏元恵里子, 吉永砂織, 安部博史, 木下博恵, 香川将大, 清川拓馬, 武田龍一郎, 石田康, 根本清次: 顔面電位情報を用いた感情シミュレーションの可能性ー表情表出および感情喚起におけるトポグラフィの比較ー. 第2回日本シミュレーション医療教育学会学術大会, 宮崎市, 6月28日 (2014)

9) 藏元恵理子, 根本清次, 吉永砂織, 安部博史, 武田龍一郎, 石田康: 顔面電位トポグラムを用いた表情分析. 第67回九州精神神経学会, 福岡市, 12月4-5日 (2014)

10) Matsuo H, Nishimori T, Abe H, Kuramashi A, Koganemaru G, Funahashi H, Ebihara K, Ikeda T, Ishida Y: Effect of an N-methyl-D-aspartate receptor antagonist in animal models of schizophrenia: An immunohistochemical study in the rat. 44th Annual Meeting Society for Neuroscience, Washington, DC, Nov. 15-19 (2014)

11) 松尾寿栄, 宮原裕, 塚本彩香, 直野慶子, 三好良英, 石田康: 交通外傷後のびまん性軸索損傷の2症例. 第67回九州精神神経学会, 福岡市, 12月4-5日(2014)

12) 宮原裕, 小金丸剛, 保田和哉, 船橋英樹, 安部博史, 石田康: 宮崎大学医学部附属病院精神科外来における統合失調症圏患者の抗コリン薬処方状況に関する後方視的研究. 第67回九州精神神経学会, 福岡市, 12月4-5日(2014)

13) 三好良英, 松尾寿栄, 武田龍一郎, 小松弘幸, 石田康: 医学生のメンタルヘルス問題に関連する性格傾向について. 第46回日本医学教育学会大会, 和歌山市, 7月18-19日(2014)

14) 三好良英, 松尾寿栄, 武田龍一郎, 小松弘幸, 石田康: 卒後臨床研修期間中のメンタルヘルス問題に関連する研修医の性格傾向についての前方視的研究(第二報). 第67回九州精神神経学会, 福岡市, 12月4-5日(2014)

15) 村上元, Meng H, 枝村光浩, 古川智範, 福田敦夫, 岩下寿秀, 石田康, 中原大一郎: MHC クラス 1 のコカインの自己投与への関与. 第37回日本神経科学大会, 横浜市, 9月11-13日(2014)

16) Murakami G, Meng H, Edamura M, Furukawa T, Fukuda A, Iwashita T, Ishida Y, Nakahara D: Involvement of immune protein mhc class I in the development of cocaine self-administration. 44th Annual Meeting Society for Neuroscience, Washington, DC, Nov. 15-19 (2014)

17) 直野久雄, 橋口浩志, 直野慶子, 船橋英樹, 河野次郎, 並木薫, 徳永拓也, 吉村清太, 中武大志, 武田龍一郎, 石田康: 後頭葉梗塞後に幻視が出現した3症例の治療経験. 第67回九州精神神経学会, 福岡市, 12月4-5日(2014)

18) 直野久雄: 拒薬により精神症状が再燃し、オランザピン速効型筋注製剤が奏効した統合失調症急性期の2例. 第7回LPM会, 宮崎市, 5月30日(2014)

19) 直野慶子, 保田和哉, 荒木竜二, 安部博史, 船橋英樹, 武田龍一郎, 石田康: 不眠症患者の薬物依存性に対するラメルテオンの影響—ラメルテオン非投与群を対象とした比較調査—. 第110回日本精神神経学会総会, 横浜市, 6月26-28日(2014)

20) 直野慶子, 安部博史, 宇田川充隆, 三好良英, 松尾寿栄, 船橋英樹, 永田賢治, 下田和哉, 石田康: インターフェロンによる精神症状と気質性格特性の関連性. 第67回九州精神神経学会, 福岡市, 12月4-5日(2014)

21) 清水謙祐, 松田圭二, 鳥原康治, 藤井博則, 下郡博明, 玄田智, 吉田建世, 東野哲也, 石田康: 心因性めまい (精神疾患併存=Psychiatric comorbidity) の検討. 第 110 回日本精神神経学会総会, 横浜市, 6 月 26-28 日 (2014)

22) 清水謙祐, 武田龍一郎, 小牧正吾, 松藤正彦, 吉田建世, 石田康, 東野哲也: 眼振を伴う精神科入院患者における神経耳科的検査結果. 第 110 回日本精神神経学会総会, 横浜市, 6 月 26-28 日 (2014)

23) 塚本彩香, 直野慶子, 船橋英樹, 宇田川充隆, 三好良英, 安部博史, 松尾寿栄, 石田康: 宮崎大学医学部附属病院精神科におけるコンサルテーション・リエゾン精神医療の現状. 第 67 回九州精神神経学会, 福岡市, 12 月 4-5 日 (2014)

24) 保田和哉, 安部博史, 小金丸剛, 蛭原功介, 池田哲也, 松尾寿栄, 倉増亜紀, 船橋英樹, 武田龍一郎, 有森和彦, 石田康: プラミペキソールはラット線条体へのピロカルピン投与によって誘導されるパーキンソン病様振戦を減弱させる. 第 36 回日本生物学的精神医学会・第 57 回日本神経化学会大会, 奈良市, 9 月 29-10 月 1 日 (2014)

#### X. その他の発表 (研究会, 懇話会, 談話会, 座談会等)

1) 船橋英樹: 県立宮崎病院緩和ケアスキルアップ研修会「苦痛緩和のための鎮静」. 県立宮崎病院緩和ケアスキルアップ研修会, 宮崎市, 2 月 15 日 (2014)

2) 船橋英樹: 精神症状の包括的アセスメント. 宮崎県医師会緩和ケアチーム研修会, 宮崎市, 3 月 16 日 (2014)

3) 船橋英樹: 宮崎県緩和ケア研修会「せん妄」. 平成 26 年度第 1 回宮崎県緩和ケア研修会, 宮崎市, 6 月 29 日 (2014)

4) 船橋英樹: せん妄の最新知識と患者・家族へのサポート. 国立病院都城病院地域がん診療連携拠点病院研修, 都城市, 7 月 3 日 (2014)

5) 船橋英樹: 宮崎県緩和ケア研修会「緩和ケア概論」. 平成 26 年度第 3 回宮崎県緩和ケア研修会, 宮崎市, 9 月 6 日 (2014)

6) 船橋英樹: 宮崎県緩和ケア研修会「精神症状」. 平成 26 年度第 3 回宮崎県緩和ケア研修会, 宮崎市, 9 月 7 日 (2014)

7) 船橋英樹: 宮崎県緩和ケア研修会「せん妄」. 平成 26 年度第 3 回宮崎県緩和ケア研修会, 宮崎市, 9 月 7 日 (2014)

8) 船橋英樹: 宮崎県緩和ケア研修会「コミュニケーション」. 平成 26 年度第 3 回宮崎県緩和ケア研修会, 宮崎市, 9 月 7 日 (2014)

9) 船橋英樹: 看護師ができる自殺予防. 日向保健所, 日向・東臼杵地区合同平成 26 年度自殺対策研修会, 宮崎県日向市, 9 月 13 日 (2014)

10) 船橋英樹: 宮崎県緩和ケア研修会「せん妄」. 平成 26 年度第 5 回宮崎県緩和ケ

ア研修会，宮崎市，11月24日（2014）

11) 船橋英樹：宮崎県緩和ケア研修会「コミュニケーション」。平成26年度第5回宮崎県緩和ケア研修会，宮崎市，11月24日（2014）

12) 船橋英樹：がん治療における怒りと否認について。平成25年度宮崎大学附属病院院内がんセミナー，宮崎市，12月11日（2014）

13) 船橋英樹：せん妄の病態と対処法。平成25年度宮崎大学附属病院院内がんセミナー，宮崎市，12月11日（2014）

14) 石田康：宮崎県の自殺対策。けんなん病院新春講演会，串間市，1月9日（2014）

15) 石田康：痛みを伴う精神疾患の治療を考える。第93回名古屋心身医学研究会，名古屋市，1月25日（2014）

16) 石田康：ドパミン神経研究から統合失調症を考える。八代精神科医会学術集会，八代市，3月10日（2014）

17) 石田康：性同一性障害診療の実際。宮崎県作業療法士会平成25年度第2回日南串間ブロック研修会，日南市，3月15日（2014）

18) 石田康：プライマリケア医が会う精神疾患の“処方箋”—不眠，不安を中心に—。第37回宮崎地区泌尿器科医懇話会，宮崎市，4月22日（2014）

19) 石田康：宮崎大学におけるGID診療の現状。性同一性障害の鹿児島交流会，鹿児島市，5月24日（2014）

20) 石田康：認知症とどう向き合うか。第158回宮崎県眼科医会講習会及び保険研究会，宮崎市，6月21日（2014）

21) 石田康：認知症とどう向き合うか。宮崎県認知症高齢者グループホーム連絡協議会総会・第1回全体研修会，宮崎市，7月19日（2014）

22) 石田康：痛みを伴う精神疾患の治療を考える。ファイアサイドセミナー1第27回日本総合病院精神医学会総会，つくば市，11月28日（2014）

23) 石田康：意外と知らない医師の仕事。平成26年度「宮崎県内大学・短大・高専の授業体験会」consortium MIYAZAKI 2014，宮崎市，12月14日（2014）

24) 加藤和男：趣味と認知症。第32回都城市高齢者学級振興大会，都城市，2月7日（2014）

25) 加藤和男：認知症と幻覚・妄想。大悟病院認知症疾患医療センターかかりつけ医研修会，都城市，11月20日（2014）

26) 河野次郎：自殺（自死）を巡る諸問題と看護職に期待すること。平成25年度自殺対策研修会（宮崎県看護協会），宮崎県福祉総合センター，宮崎市，2月1日（2014）

27) 河野次郎：精神障害者への対応について。精神保健に関する所内研修会，宮崎県中央福祉こどもセンター，宮崎市，2月6日（2014）



- 28) 河野次郎：職場に多い精神疾患. 社会保険労務士の研修会, 宮崎県精神保健福祉センター, 宮崎市, 2月7日 (2014)
- 29) 河野次郎：思春期における精神疾患. 第13回公益財団法人宮崎県健康づくり協会健康づくりセミナー, 宮崎県総合保健センター, 宮崎市, 2月17日 (2014)
- 30) 河野次郎：イギリスでのうつ病治療. 第8回県北NaSSA懇話会, ホテルメリージュ延岡, 延岡市, 2月18日 (2014)
- 31) 河野次郎：思春期における精神疾患. 第13回公益財団法人宮崎県健康づくり協会健康づくりセミナー, 延岡保健所, 延岡市, 2月20日 (2014)
- 32) 河野次郎：我が国における精神保健施策と宮崎県の現状. 宮崎県精神保健福祉センター, 宮崎市, 2月24日 (2014)
- 33) 河野次郎：うつ病等の精神疾患について (医学的見地から). 平成25年度宮崎市自殺対策人材養成事業, 宮崎市保健所・中央保健センター, 宮崎市, 3月3日 (2014)
- 34) 河野次郎：精神障害の理解. 精神疾患及び障害を理解する市民講座. 精神疾患の理解と地域生活を支えるノウハウ. 宮崎市民プラザ, 宮崎市, 3月11日 (2014)
- 35) 河野次郎：摂食障害の理解. 平成26年度第1回摂食障害家族教室, 宮崎県精神保健福祉センター, 宮崎市, 5月9日 (2014)
- 36) 河野次郎：治療と対応において大切なこと. 平成26年度第4回摂食障害家族教室, 宮崎県精神保健福祉センター, 宮崎市, 6月20日 (2014)
- 37) 河野次郎：うつ病について. 持田製薬株式会社社員教育講義, 宮崎市, 7月17日 (2014)
- 38) 河野次郎：課題演習総括. 平成26年度第2学年精神医学疾病論・治療論Ⅱ－1. 宮崎県立看護大学, 宮崎市, 7月17日 (2014)
- 39) 河野次郎：課題演習総括. 平成26年度第2学年精神医学疾病論・治療論Ⅱ－1. 宮崎県立看護大学, 宮崎市, 7月24日 (2014)
- 40) 河野次郎：薬物乱用の危険性と最近の傾向. 薬物乱用防止指導員小林地区協議会・研修会. 小林保健所2階多目的ホール, 小林市, 9月29日 (2014)
- 41) 河野次郎：摂食障害について 拒食症・過食症の治療と回復過程. 平成26年度第2学年精神医学疾病論・治療論Ⅱ－2. 宮崎県立看護大学, 宮崎市, 10月10日 (2014)
- 42) 河野次郎：摂食障害の理解. NST 院内研修会, 県立宮崎病院, 宮崎市, 11月20日 (2014)
- 43) 河野次郎：海外の精神医療について. 平成26年度第2学年精神医学疾病論・治療論Ⅱ－2. 宮崎県立看護大学, 宮崎市, 11月21日 (2014)
- 44) 河野次郎：児童思春期におけるストレス関連疾患について. 宮崎大学大看護学

研究科「心身の痛み概論」及び看護学科「ストレス科学」合同講義，宮崎大学医学部総合教育研究棟 6 階 612 号室，宮崎市，12 月 3 日（2014）

45) 河野次郎：10 代のメンタルヘルス．心の健康講演会，八代中学校，国富町，12 月 8 日（2014）

46) 河野次郎：うつ病と自殺を防ぐために．NPO 法人うつ予防の会・だんだん主催講演会 精神医療の現場からここに寄り添う，宮崎市民プラザ 4 階大会議室，宮崎市，12 月 13 日（2014）

47) 古郷央一郎，三好良英，松尾寿栄，落合秀信，石田康：宮崎大学医学部附属病院救命救急センターへ入院した後に精神科診療を要した自殺企図患者の検討．第 72 回宮崎県精神科医会懇話会，宮崎市，12 月 6 日（2014）

48) 倉増亜紀，安部博史，小金丸剛，松尾寿栄，船橋英樹，保田和哉，武田龍一郎，蛭原功介，池田哲也，西森年數，石田康：Methamphetamine 誘発性潜在抑制障害に対する blonanserin の効果．DS フォーラム 2014，神戸市，3 月 8 日（2014）

49) 宮原裕，直野慶子，船橋英樹，武田龍一郎，石田康：レベチラセタムによる精神病症状の発現が疑われた一例．第 71 回宮崎県精神科医会懇話会，宮崎市，6 月 7 日（2014）

50) 松尾寿栄：人間関係が楽になる～自分も相手も大切に自己表現法～健康管理に関する講習会，宮崎地方家庭裁判所，宮崎市，10 月 10 日（2014）

51) 松尾寿栄：人間関係が楽になる～自分も相手も大切に自己表現法～健康管理に関する講習会，宮崎地方家庭裁判所都城支部，都城市，10 月 17 日（2014）

52) 中武大志，吉村清太，徳永拓也，直野久雄，並木薫，河野次郎，松田裕，橋口浩志，石田康：危険ドラッグを使用した 1 症例．第 72 回宮崎県精神科医会懇話会，宮崎市，12 月 6 日（2014）

53) 直野久雄，橋口浩志，直野慶子，船橋英樹，武田龍一郎，石田康：両側後頭葉梗塞後に複雑幻覚が出現しクエチアピンが奏効した Anton 症候群様の症状を呈した一例．第 71 回宮崎県精神科医会懇話会，宮崎市，6 月 7 日（2014）

54) 清水謙祐，松田圭二，鳥原康治，堀井新，小牧正吾，松藤正彦，東野哲也，吉田建世，武田龍一郎，石田康：アルゼンチン・バラニー学会（国際めまい平衡医学会）報告．第 72 回宮崎県精神科医会懇話会，宮崎市，12 月 6 日（2014）

55) 武田龍一郎：アルコールが健康に及ぼす影響～特にメンタルヘルスについて～．アルコールと健康に関する研修会，えびの市，2 月 26 日（2014）